

令和2年度
ぐんま新技術・新製品開発推進補助金
【市町村・県パートナーシップ支援型】

－ 募 集 案 内 －

[募集期間]

令和2年4月1日（水）～5月11日（月）午後5時

共同実施市町村と群馬県が連携して
新技術・新製品の開発を支援します

[ご注意ください]

- ・この補助金は、県内中小企業者が行う新技術・新製品に関する研究開発を対象にしています。
- ・量産設備の導入等、設備投資のみの応募はできません。

令和2年4月

前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市
沼田市	館林市	渋川市	藤岡市	富岡市
安中市	みどり市	榛東村	吉岡町	下仁田町
甘楽町	中之条町	東吾妻町	みなかみ町	玉村町
板倉町	明和町	千代田町	大泉町	邑楽町

群馬県

1 補助対象者

「7 実施市町村一覧」に主たる事業所を有する中小企業者

- ※ 中小企業者であるかどうかについては、業種ごとに資本金と従業員の二つの基準があり、【表1】の資本金・従業員規模いずれか一方を満たせば、中小企業者として、本事業の対象となります。また、個人事業者の方や、【表2】に掲げた組合等も中小企業者に該当し、本事業の対象となります。
- ※ 中小企業者の役員等が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者でないことが条件となります。
- ※ 以下の中小企業者(みなし大企業)は、補助対象者から除きます。
 - ①発行済株式の総数又は出資価額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業者
 - ②発行済株式の総数又は出資価額の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業者
 - ③大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている中小企業者

【表1】

主たる事業として営んでいる業種	資本金・従業員規模
製造業、建設業、運輸業	3億円以下 又は 300人以下
卸売業	1億円以下 又は 100人以下
サービス業	5,000万円以下 又は 100人以下
小売業	5,000万円以下 又は 50人以下
その他の業種(上記以外)	3億円以下 又は 300人以下

業種 … 主たる事業として営む事業

資本金 … 資本の額又は出資の総額

従業員 … 常時使用する従業員(事業主、法人の役員、臨時の従業員は含まない)

【表2】

事業協同組合、事業協同小組合、信用協同組合、協同組合連合会、企業組合、協業組合、商工組合、商工組合連合会

※ 申請資格についての注意点

- 同一法人・事業者の応募申請は「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金」(先端ものづくり産業推進型を含む)において、1申請のみに限ります。
- 同一または類似の開発テーマについて、国、市町村、財団法人等が実施する他の助成制度(補助金・委託費等)に申請中または申請予定の場合、併願申請は可能ですが、両方採択となった場合いずれかを辞退していただくこととなります。
- 過去に「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金」を活用した中小企業者で、事業終了後に提出が義務付けられている「企業化状況報告書」の提出を怠っている場合は、申請資格がありません。

2 補助額等

補助額 = 事業費(補助対象経費) - 企業負担額20万円

但し、**補助限度額は80万円**で、これを超える分は企業負担となります。

	事業費(補助対象経費)	企業負担額	補助額
ケース1	30万円	20万円	10万円
ケース2	80万円	20万円	60万円
ケース3	100万円	20万円	80万円
ケース4	150万円	70万円	80万円
ケース5	200万円	120万円	80万円

3 補助対象事業

中小企業者が自ら行う「ものづくり」に係る新技術・新製品に関する開発のうち、具体的な技術的課題が明確で、新規性があり、事業化と市場性が見込まれるもの

ものづくりに係る生産・加工方法の高度化、新工法等の技術開発、機械・装置の開発、材料等の利用技術の開発、新製品の開発などが対象となります。

また、研究開発を、原則として「7 実施市町村一覧」の市町村内で実施する必要があります。

※ **主な補助対象外事業** 以下の事業は、補助対象となりません。

- 1) 技術開発課題の解決方法そのものの全部又は大部分を、外注又は委託する場合
- 2) 企画・開発の内容が、既に他において完成されたものと同様とみなされる場合や、既存技術・製品の軽微な改良である場合
- 3) 申請者自身の企画・開発とみなされない場合や、第三者から発注を受けて企画・開発を行う場合
- 4) 開発段階を終えて、スケールアップ又は量産化段階に達している場合
- 5) 機械・器具等の購入(設備投資)を主な目的とした申請とみなされる場合
- 6) 全部又は大部分がソフトウェアの開発である場合
- 7) 同一又は類似の事業について、国、県、市町村、特殊法人等が助成する他の助成制度(補助金、委託費等)と重複する事業
- 8) 公序良俗に反する事業

4 補助対象経費

開発事業に要する経費のうち、補助対象となる経費は次のとおりです。

区 分	内 容
原材料費	<p>原材料及び副資材の購入に要する経費</p> <p>※補助事業実施期間内において、実際に使用するものに限ります。</p>
機械装置費 工具器具費	<p>機械装置や工具器具の購入、改良、借用及びこれらに付随する据付、試験運転等に要する経費</p> <p>※本区分のみの交付申請はできません。また、本区分の交付申請額は、<u>交付申請額総額の1/2を限度とします。</u></p> <p>※購入については、開発における必要性を精査して適否を判断します。また、機械装置等は、社内の通常の製品製造・検査・測定など、補助事業以外の目的に用いることはできません。</p>
外注加工費	<p>外注加工に要する経費</p> <p>※図面・仕様書を提示し、製作を委託するものが対象です。</p> <p>※課題解決の主要な部分が、外注加工の委託先のノウハウに依ると判断された場合は、補助対象となりません。</p> <p>※原材料の調達も含めて外注する場合は、これらに要する経費も外注加工費に含めて計上してください。</p>
調査研究委託費 外部指導受入費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や公設試験研究機関等との共同研究費、データ試験費 ・ 製品デザインに関する指導受入又は委託等に要する経費 ・ 外部からの各種専門家（技術士、民間企業の技術者等）の指導受入に要する経費 <p>※大学への「寄付金」は、補助対象外です。</p>
知財出願費	<p>研究開発成果の知財出願（国内・海外）等に要する弁理士費用</p> <p>※交付申請額は<u>20万円を限度とします。</u></p> <p>※特許出願料や審査請求料及び特許料は対象外です。</p>
その他経費	<p>上記のほか、市町村長及び知事が特に必要と認める経費</p>

※ **主な補助対象外経費** 以下の経費（例示）は、補助対象となりません。

- 1) 交付決定日より前に契約（発注）や支出を行った経費
- 2) 研究開発にかかる人件費、旅費交通費、会議費、送料
- 3) 取引に係る消費税及び地方消費税
- 4) パソコン、プリンターなど汎用性のあるもの
- 5) 文房具などの事務用品等の消耗品代、書籍代
- 6) 開発技術・製品の販路拡大のために要する経費
例：ホームページやチラシ・パンフレット類の作成費、展示会出展費用
- 7) 事業完了日までに支払が完了しなかった経費

5 募集期間

令和2年4月1日(水)～5月11日(月)午後5時

※提出書類に不備がある場合は受理できませんので、余裕を持ってご提出ください。

6 応募方法

(1) 持参

所定の申請書（県または各市町村のホームページからダウンロード）に必要事項を記入の上、各市町村担当窓口まで持参してください。（郵送不可）

【群馬県ホームページ】

トップページ> しごと・産業・農林・土木> 商工業・経営支援> 商・工・次世代産業> 工業> 研究開発支援> ぐんま新技術・新製品開発推進補助金> ぐんま新技術・新製品開発推進補助金【市町村・県パートナーシップ支援型】

(2) 電子申請

以下の経済産業省の電子申請システム「Jグランツ」のWebページに掲載の「【群馬県】令和2年度 ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（市町村・県パートナーシップ支援型）」の項目を選択し、提出してください。

<https://jgrants.go.jp>

※ 電子申請による提出の場合は、GビズID「gBizプライム」の取得が必要となります。「GビズID」の詳細については、以下のWebページをご覧ください。

<https://gbiz-id.go.jp>

※ 当該IDは申請から取得までに2～3週間を要しますので余裕をもってご準備願います。

7 実施市町村一覧(申請・問い合わせ先)

	所 属	住 所	電話番号
前 橋 市	産業政策課産業政策係	前橋市大手町2-12-1	027-898-6983
高 崎 市	産業政策課産業創造館	高崎市下之城町584-70	027-320-2808
桐 生 市	商工振興課工業労政担当	桐生市織姫町1-1	0277-46-1111
伊勢崎市	商工労働課商工振興係	伊勢崎市今泉町2-410	0270-27-2754
太 田 市	工業振興課工業振興係	太田市浜町2-35	0276-47-1834
沼 田 市	産業振興課商工振興係	沼田市下之町888	0278-23-2111
館 林 市	商工課工業振興係	館林市城町1-1	0276-72-4111
渋 川 市	商工振興課産業立地推進係	渋川市石原80	0279-22-2596
藤 岡 市	商工観光課企業誘致推進係	藤岡市中栗須327	0274-40-2319
富 岡 市	産業振興課工業振興係	富岡市富岡1460-1	0274-62-1511
安 中 市	地域創造課商工労働係	安中市松井田町新堀245	027-382-1111
みどり市	商工課商工労政係	みどり市大間々町大間々1511	0277-76-1938
榛 東 村	産業振興課商工労働係	北群馬郡榛東村新井790-1	0279-54-2211
吉 岡 町	産業観光課産業振興室	北群馬郡吉岡町下野田560	0279-54-3111
下仁田町	商工観光課商工観光係	甘楽郡下仁田町下仁田682	0274-64-8805
甘 楽 町	産業課商工観光係	甘楽郡甘楽町小幡161-1	0274-74-3131
中之条町	観光商工課商工係	吾妻郡中之条町中之条1091	0279-26-7727
東吾妻町	まちづくり推進課商工観光係	吾妻郡東吾妻町大字原町1046	0279-68-2111
みなかみ町	観光商工課商工振興グループ	利根郡みなかみ町月夜野1744-1	0278-25-5028
玉 村 町	経済産業課商工労働係	佐波郡玉村町下新田201	0270-65-7144
板 倉 町	産業振興課商工誘致推進室商工観光係	邑楽郡板倉町大字板倉2682-1	0276-82-1111
明 和 町	産業振興課商工係	邑楽郡明和町新里250-1	0276-84-3111
千代田町	産業観光課商工観光係	邑楽郡千代田町赤岩1895-1	0276-86-7005
大 泉 町	経済振興課商工振興係	邑楽郡大泉町日の出55-1	0276-63-3111
邑 楽 町	商工振興課商工労政係	邑楽郡邑楽町中野2570-1	0276-47-5026
群 馬 県	地域企業支援課技術開発係	前橋市大手町1-1-1	027-226-3352

8 提出書類（チェックリスト）

各書類については、ホチキス留めとせず、必ずクリップ留めとしてください。

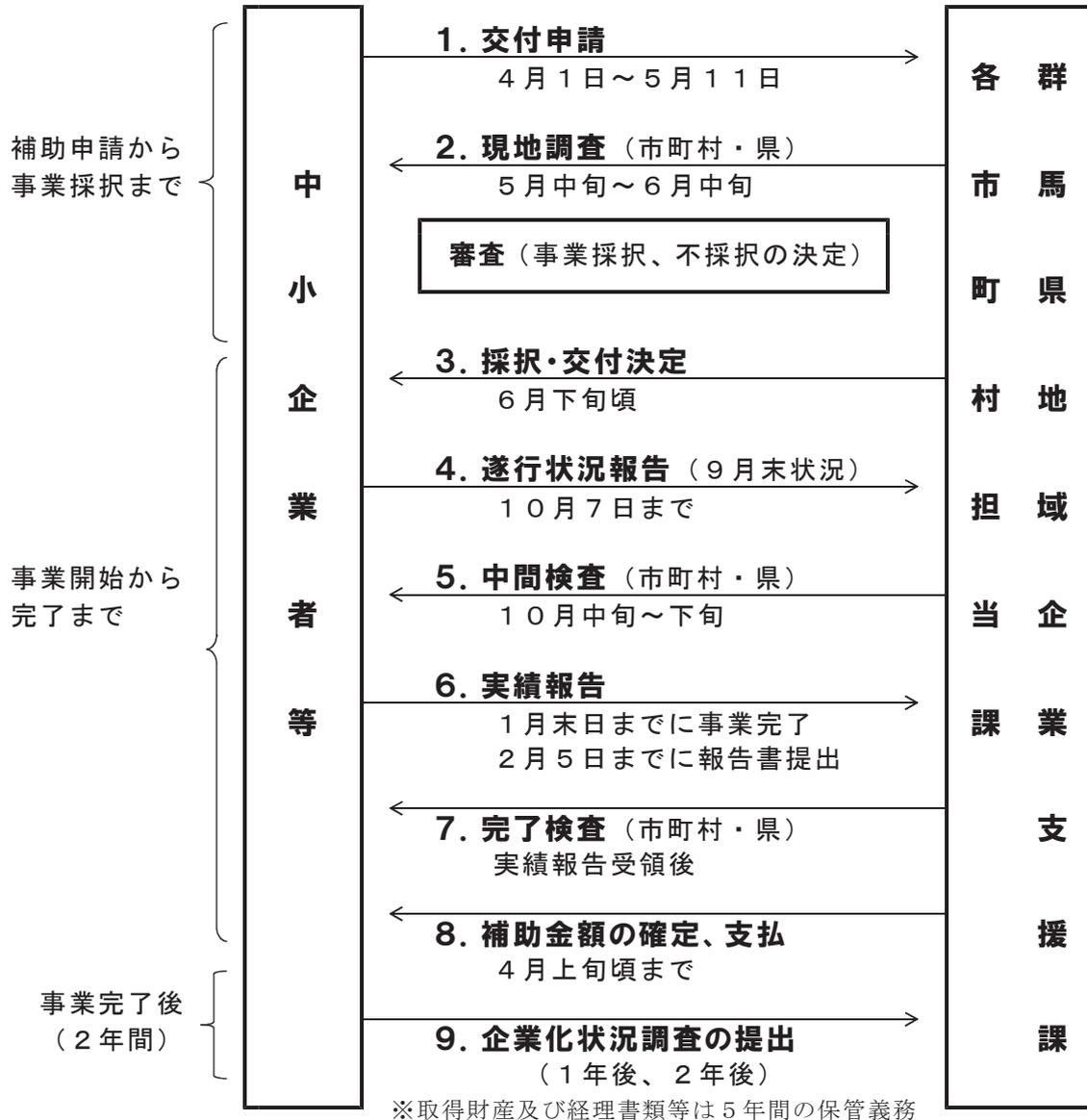
提出書類		チェック欄
交付 申請 書	① 「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金交付申請書」 （市町村・県パートナーシップ支援型）（様式第1） 知事あて・市町村長あて 各1部 ※ 必ず「代表者印」を押印してください。	<input type="checkbox"/>
	② 補助事業計画書（別紙） 2部	<input type="checkbox"/>
	③ 上記の電子データ（市町村担当者あてメール送信）	<input type="checkbox"/>
添 付 書 類	④ 履歴事項全部証明書 2部（コピー可） ※個人事業者の場合：住民票（マイナンバーが記載されて いないもの） ※3カ月以内に発行されたもの	<input type="checkbox"/>
	⑤ 決算報告書 2部 ※直近のもの1期分 ※個人事業者の場合：所得税申告書の写し ※設立間もなく決算書の提出ができない中小企業者：事業 計画書及び収支予算書	<input type="checkbox"/>
	⑥ 市町村税完納証明書 2部（1部は本書） ※該当市町村窓口で請求してください。 ※3カ月以内に発行されたもの ※2部のうち1部はコピーでよい（⑦も同様）	<input type="checkbox"/>
	⑦ 県税完納証明書 2部（1部は本書） ※（行政）県税事務所で請求してください。 ※3カ月以内に発行されたもの	<input type="checkbox"/>
	⑧ その他の資料 各2部 ※ 該当がある場合には提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会社案内等のパンフレット <input type="checkbox"/> ・ 当該開発に係る特許資料 <input type="checkbox"/> ・ 新聞記事、雑誌等に掲載された研究内容がわかるもの <input type="checkbox"/> ・ その他参考となる資料 <input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※提出書類のほかに、審査等の必要に応じて資料の追加提出及び説明を求めることがあります。なお、提出書類は返却いたしません。

※「Jグランツ」を通じて電子申請を行う場合、「交付申請書」はワードファイルで、「添付書類」はPDFファイルでの申請をお願いします。

9 審査手続き等

(1) 補助事業の流れ(概略図)



(2) 審査

申請書類等に基づく書面審査及び現地調査（市町村と県で共同実施）により、新規性・市場性・事業化可能性等の観点から審査を行い、事業の採択／不採択について決定します。

(3) 審査結果の通知

審査結果（採択／不採択）は、6月下旬頃に申請者あてに文書で通知します。
なお、通知前の電話等による照会には応じることができません。

(4) 採択企業の公表

採択となった場合には、補助事業交付決定企業として、企業概要（名称、代表者名、住所等）及び開発テーマなどについて、報道機関への発表、市町村や県のホームページへの掲載等により公表しますので御承知おきください。

10 主な留意事項（必ず御一読、御了承のうえで申請してください）

(1) 補助金の支払いは、精算払いです。

開発に要する経費は、一旦、補助事業者が全額資金調達し、経費の支払を済ませる必要があります。

(2) 補助金の交付決定は、6月下旬頃の予定です。

補助対象経費は、必ず交付決定日以降に契約（発注）、支出を行ってください。
交付決定日より前に契約（発注）や支出を行った経費については、補助対象外です。
なお、見積書の徴取は、交付決定以前でも構いません。

(3) 補助事業における経理処理等に指定があります。

補助事業に係る経費の支出に伴う契約手続き、支払方法等については、市町村及び県の指示に従っていただく事項があり、普通の商取引で使用しない手続きや書類も、必ず取り交わしていただく必要があります。（主なものは以下のとおりです。）

- 1) 契約及び購入にあたっては、見積書の徴取（特に、税込30万円以上の支出にあたっては原則として3者以上から見積書を取る）、契約書の取り交わし（又は注文書・発注書）、納品書の受領、請求書に基づく支出が必要です。
- 2) 支払は、原則として普通口座による銀行振込で行ってください。当座預金からの支払は補助対象外となる場合があります。
※現金払（小口のものを除く）、手形決済、小切手払い、相殺払い、クレジットカード払いなどの支払方法は、補助対象として認められません。
- 3) 銀行振込を行う際、他の取引との混合支払は、原則として認められません。
※補助事業専用の通帳を作成するか、補助事業に係る経費を明確に区分して支払を行ってください。
- 4) 本補助金を使用して作った試作品の販売等はできません。
- 5) 経理処理等については、採択後に配付する「ぐんま新技術・新製品開発推進補助金交付決定に伴う事業実施の留意事項」を遵守してください。
※上記留意事項に反する経理処理を行った経費については、補助対象経費として認められません。

(4) 補助事業の遂行状況報告書(9月末現在の状況)は、令和2年10月7日(水)までに提出しなければなりません。

また、令和3年1月31日(日)までに、支払いを含め事業を完了し、2月5日(金)までに、実績報告書を市町村及び県へ提出しなければなりません。

※ 事業完了後の経費支出は、補助対象外となります。

(5) 補助金で取得した財産には、処分制限があります。

補助事業により開発、取得した物品等については、所有権は補助事業者に帰属しますが、補助事業終了後5年間は善良な管理者の注意をもって管理・保管を行う義務があります。

また、市町村及び県の許可なしに処分、譲渡又は売却することはできません。

(6) 補助事業の成果について

補助事業実施年度終了後2年間、1年毎に、事業成果及び企業化状況等に関して報告を行う義務があります。守られない場合、以後の本補助金への申請はできません。

また、県が行う中小企業の研究開発推進事業及び各種振興事業について、知事から事業成果等の発表、展示等を依頼することがありますので、ご協力をお願いします。

令和 2 年 4 月 〇 日

〇〇市長 〇〇 〇〇 あて (注) 市町村には市長あて、県には知事あて、
群馬県知事 山本 一太 あて それぞれ単名で記載の上、御提出ください。

申請者住所 〒 3 7 1 - 8 5 7 0
前橋市大手町 1 - 1 - 1

申請者氏名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇 印
必ず代表者印↑

令和 2 年度 ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 交付申請書
(市町村・県パートナーシップ支援型)

【開発テーマ： 〇〇〇〇〇〇における〇〇〇〇〇〇の開発】

令和 2 年度ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(市町村・県パートナーシップ支援型)の交付を下記のとおり申請します。

なお、自己又は自己の団体の役員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 7 7 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団、暴力団員(同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者には該当しないことを誓約します。このことに関して必要な場合には、群馬県警察本部に照会することを承諾します。

記

1 補助事業の目的及び内容

別紙補助事業計画書のとおり

2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

補助事業に要する経費 金 1, 2 2 1, 3 0 0 円

交付申請額(市町村・県合計) 金 8 0 0, 0 0 0 円

交付申請額(群馬県) 金 4 0 0, 0 0 0 円(※上記合計額の 1/2)

(注) () 内は、市町村提出分は〇〇市、県提出分は、群馬県と御記入ください。

3 添付書類

- ・会社案内
- ・開発製品の仕様図
- ・本開発製品に関する業界動向記事
- ・〇〇新聞での本開発製品紹介記事(令和〇〇年〇〇月〇〇日掲載)

補助事業計画書

1. 開発テーマ	〇〇〇〇〇〇における〇〇〇〇〇〇の開発				
2. 申請者	株式会社〇〇〇〇				
氏名又は名称	代表取締役 〇〇 〇〇				
住所又は所在地	〒371-8570 前橋市大手町1-1-1				
資本金又は出資金	1,000万円	従業員数	20名	創業年月	S30年12月
主たる事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇〇〇の開発・製造・販売 ・ △△△△の〇EM生産 				
主たる製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇〇〇 (年間売上高 約5,000万円) ・ △△△△ (年間取引額 約3,000万円) 				
担当者	役職	企画開発部長	氏名	〇〇 〇〇	
	TEL	(027)226-3352	FAX	(027)221-3191	
	E-mail	XXXXXXXX@XXXX.co.jp			
3. 事業実施場所	※2カ所以上ある時は全て記載し、主たる実施場所に◎印を付すこと。 株式会社〇〇〇〇 (前橋市大手町1-1-1) ◎ 〇〇農場 (〇〇市〇〇町XXXX-XX)				
4. 過去に県又は市町村の補助金の交付を受けた実績	〇実績あり / 実績なし (どちらかに〇) ----- ※ありの場合、その補助金の種類、テーマ、交付金額及び利用年度を記入。 平成〇〇年度ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(一般型) テーマ: 〇〇〇〇〇〇の開発 補助額: 1,200,000円				
5. 本事業以外の開発助成制度への申請状況	〇予定あり / 予定なし (どちらかに〇) ----- ※ありの場合、その名称、実施機関、テーマ、採否決定予定時期及び両補助金が採択となった場合どちらの事業を活用するか等について記入。 名称: 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金(中小企業庁) テーマ: 〇〇〇〇〇〇における〇〇〇〇〇〇の開発 補助申請額: X,XXX,XXX円 採否決定予定時期: R〇.〇月頃 ※国事業採択の場合、本補助金を辞退				

1 開発体制

記入例

(1) 社内体制

開発責任者

氏名	〇〇 〇〇	部署	企画開発部	役職	部長
----	-------	----	-------	----	----

開発参加者

氏名	〇〇 〇〇	部署	企画開発部	役職	主任
----	-------	----	-------	----	----

経理担当者

氏名	〇〇 〇〇	部署	総務部	役職	係長
----	-------	----	-----	----	----

(2) 外部協力者（アドバイザー、共同研究者等）※該当があれば記入

氏名	〇〇 〇〇	所属	群馬産業技術センター	報償等の有無	有
協力・指導内容	本開発のコア技術である〇〇〇〇に関する共同研究				

2 開発内容

記入欄は、様式の枠に拘わらず、適宜増行してください。
また、文章以外にも、図、グラフ、写真等を活用してください。

(1) 開発の概要

<p>(開発の目的及び必要性)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 開発を行う社会的背景、経緯、その必要性（市場や顧客のニーズに基づいたものであること）及び現段階での技術的課題や開発要素などについて記載・ 必要に応じて図やグラフ、写真等を活用 <p>(開発の具体的内容及び手法)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画期間内に、試作品の開発や製品化に向けた課題解決への取組をどのように行うかについて、各開発段階及び実施内容毎に具体的に記載・ 必要に応じて図やグラフ、写真等を活用し、見やすく、分かりやすく記載

(2) 開発内容の新規性、既存の従来製品（商品・技術）に対する優位性

記入例

- ・市場における、今回開発するものと同種のもの（ライバルになると想定される製品など）について、その問題点や課題について記載
 - ・それに対する比較優位な点や改善点について、客観的な項目や数値に基づき具体的に記載
- ex 当社の有する〇〇技術を活用することで、一般に市販されている既存の製品と比較して、〇〇に関し〇〇%の品質向上、〇〇%の製造コスト低減 等

(3) 事業化予想及び事業展開

(現在の市場状況・規模、販売ターゲットなど)

- ・開発成果に関連する市場の状況や規模、既存製品のシェア等について客観的なデータを基に記載
- ・販売ターゲット（地域、企業、消費者層等）について具体的に記載

(開発製品（商品・技術）の事業展開計画)

- ・開発成果の普及方法（販路開拓方法）について記載
- ・開発成果の今後の事業化予想（売上額、利益、シェア見込み、社内における位置づけ 等）について記載

(4) 開発スケジュール

項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
材料検討、製品形状検討	→							
試作		→						
モニター調査					→			
改良試作、評価試験							→	

※交付決定は6月下旬頃の見込です。原材料の発注など、支出を伴うものは交付決定以降に行ってください（交付決定前の発注は補助対象外です）。見積り依頼は交付決定前でも可能です。

3 知的所有権の状況

今回の開発に関連する特許等の状況について、いずれかに○を付け、該当する事項を記入してください。

ア 取得（申請）済み [権利の種別、番号、名称等を記入してください。]

イ 申請予定 [権利の種別、申請内容、申請予定時期を記入してください。]

開発製品の○○○○部分の基本技術に関する特許権（令和○○年○月頃）
製品名に関する商標権（令和○○年○月頃）

ウ その他

4 補助事業に要する経費明細書

記入例

記載上の注意をよく読んでからご記入ください。

経費区分	種別・内容	補助事業に要する経費 (税抜)(円)	交付申請額 (市町村・県合計) (円)	備考
原材料費	○○○○	45,800		○○円×○kg
	□□□□	30,000		○○円×○○本
	△△△△	10,000		○○円×○○冊
	小計	85,800	85,000	
機械装置費 ・ 工具器具費	○○製造機	250,500		○○を行うため購入
	小計	250,500	250,000	
外注加工費	○○○○加工	185,000		○○するための加工
	小計	185,000	165,000	
調査研究委託費 ・ 外部指導受入費	○○○○に関する共同研究	500,000		○○大学○○学部
	小計	500,000	200,000	
知財出願費	特許出願に係る弁理士費用	200,000		
	小計	200,000	100,000	
その他経費				
	小計	0		
合計		(A) 1,221,300	(B) 800,000	

(記載上の注意)

- 注1 「補助事業に要する経費」は、消費税を抜いた額を記入してください。
- 注2 各経費区分の「交付申請額」(市町村・県合計)は、千円未満切り捨ててください。
- 注3 「交付申請額」(市町村・県合計)の合計は、補助限度額(=80万円)以内としてください。
- 注4 「補助事業に要する経費」の合計から「交付申請額」(市町村・県合計)の合計を差し引いた額は、20万円以上としてください。
- 注5 機械装置・工具器具費については、補助金総額の1/2以内とし、購入、改良、据付、借用等の別を備考欄に記載してください。
- 注6 知財出願費に係る交付申請額(市町村・県合計)は20万円を限度とします。

(A)-(B)は20万円以上とする
※ 企業負担分となる